

特定非営利活動法人  
ニッポン・アクティブライフ・クラブ  
**NALC**  
大阪市中央区常磐町2-1-8  
電話 06-6941-5448(代表)



特定非営利活動法人  
ニッポン・アクティブライフ・クラブ  
**ナルク徳島**  
徳島市南矢三町2丁目1-59  
電話 088-615-1066

発刊責任者 ナルク徳島代表

編集 ナルク徳島会報・HP部

### 第43回 阿南市社会福祉大会開催

平成二十三年一月十五日、阿南市文化会館で、第四十三回阿南市社会福祉大会が開催されNPOの各団体、市民参加の社会福祉団体などが多数参加、ナルク徳島もロビーにパネル展示などで参加した。会場は、文化ホール内での開催式典、アトラクションとしてギターの弾き語り、有名阿波踊り連による阿波踊り演舞等が披露され、ホールロビーでは、参加団体のチラシ、紹介パネル等が多数展示され市民参加者の注目を浴びた。また、屋外では各種の売店が展開し子供たちの元気に弾む声の中、軽食の販売もされた。幼稚園児を伴ったお母さんは、「この種の催しものを開催されるのが楽しみで、情報交換等では子供たちでなく親たちがそれぞれ楽しみになっており、新たな友人ができて生活圏が広がった」と話していた。ナルク徳島は拠点設立後三年を過ぎようとしている。それでも拠点本拠の徳島市でこのような大会の開催を見たことがない。掛け声ばかりでなく実質的な実現を望みたい。そして、このような大会には参加することに意義がありナルク徳島では積極的に福祉大会と目される行事には参加推進していきたいと考えている。このことは本部の推進する「子育て支援」にもかかわる。



### 第2回 木工教室開催

ナルク徳島は一月八日に第二回木工教室を開催、子供たちにノコギリの使い方、トンカチの持ち方、釘の打ち方などの実行動作の経験を学ばせた。道具を使うことは危ないから止めさせると言うことも学ばせた。ただ、刃物を使うことは危ないから止めさせると言うことでなく、刃物に拘わらず、道具は正しく使うことで楽しくもあり、モノが完成した時のうれしさ、喜びをも感じられる感性豊かな子供たちを育てることのできる場になれば願ってもないことと考えている。木工教室はこれからも引き続き開催していく予定。



ノコを引き、材料採り



ママ達も真剣

### 如月

二月と言えば「如月」、日本人の感性は言葉の一つ一つにまで現れている。「俳句の季語」と言うことからもあるかもしれない。で、その「如月」難しく「木久佐波利都伎也」とも呼ばれ、「衣更着」とも呼ばれていた「そんな」。前者は季節が良くなりつつあり、植物が活発になり始めるころ、とか。後者は、寒い冬のこの時期、更に衣を重ね着することで寒さをしのぐ、と言う意味にも通じる「らしい」。

某女性会員は重ね着で着膨れするのはカッコが悪くてイヤ。家事をするときはエフロン着用、冬は寒いのでエフロンよりも割烹着を愛用。洗濯もの干しはその上にジャンパーとかオーバーを着ることがあり、そのまま気付かずに買い物に出かける、買物物の店内等ではオーバーを脱ぐこともないけれど、訪問先のお宅の玄関で、ハッ、と気づく。重ね着のせいだけでなく、おもわず汗がドット噴き出る。

友人宅のような気遣いの不必要なところでは恥ずかしさを笑いでごまかして何とかなるが、気の張る親戚・役宅等ではごまかしようがない。そんな時、恥ずかしさのごまかしようはなんと云えば...

会員の状況	平成23年1月31日現在	289家族	406人
時間預託活動	平成23年1月度	361時間	(提供者41・利用者58)
奉仕活動	環境活動；山城町周辺道路清掃	活動日	毎月第3日曜日
地区リーダーにお願い。 地区におけるニュース、イベントなどを写真付で本誌編集までご提出ください。全エリアの地区リーダーにお願いします。(本誌編集部)			



福寿草

## ナルク徳島 教室・同好会情報

<b>アートピース教室</b>	毎月・第3金曜日 10:00~16:00 (3月より再開) 交流プラザ・3階 費用 会費 300円+材料費 講師 切中絹子
<b>パソコン講習会</b>	毎週・火曜日 10:00~12:00 (要望があれば午後も開講します) 交流プラザ・3階 費用 会費 300円 講師 佐藤 繁
<b>写真とパソコン</b>	毎月・第1、第3木曜日 13:30~15:30 写真取込、カレンダー作り他 費用 会費 300円+消耗品費が必要な場合もあります。 講師 青山雅夫
<b>生花教室</b>	毎月・第2、第4金曜日 13:30~15:00 交流プラザ・3階 費用 会費 300円+材料費 800円 静香流 講師 松田公子
<b>書道教室</b>	毎月・第1、第3水曜日 13:30~15:00 交流プラザ・3階 費用 会費 300円 必要な道具類は事務局でご用意します。 講師 田村サワ子
<b>お弁当会</b>	ナルク徳島・定例会の後で開きます。また、新企画として好評のハンドマッサージの研修も同時に行います。多数ご参加ください。
<b>お困りごとコーナー</b>	日常の些細なお困りごと受付。蛍光灯の交換、蛇口のパッキン取り換え、電気配線の整理、棚の取付、その他日常の小さなお困りごとを事務局へお申し出ください。



居宅支援 フリージア  
訪問看護 フリージア  
デイサービス みんなのみらい  
(株)みらい 代表取締役 廣瀬幸子  
088-678-7291

火鉢の中のチロチロと炎を立てる豆炭を見つめていた。傍から、バアバが「豆炭を見つめていると兎のような真赤な目になるぞ、」と脅かされた。オラの生れ育ったところは田舎の山の間。道は野ウサギの通る兎道。タヌキとか野ウサギがいたよ。オラんくにも鶏や兎をかつていたよ。兎の餌は山に採りに行ってたよ。よく言われたのは雨の日の餌は水分が餌についていると兎が死ぬと言われていたけど今になってみると兎だつて水を飲んでいたので、不思議な話だつたよ。山仕事でお弁当を食べた後、割り箸は捨ててはダメって。そのお箸をウサギが舐めるとそのお箸を使っていた人は間違って倒錯していった。頭の中が走馬兎のような顔になるんだつて子供のころから聞かされていたよ。兎を食べても兎顔になるんだつて。そんなんでオラは狸の肉は食べたけど兎の肉は食べることがなかったんだ。

「よつ、ご同輩・・・、」  
吉野川北岸を車で西から東に向けて走る。同じ北岸を東から西に向かうと悠々と流れ行く吉野川の左右に連綿と重なる四国山脈の峰々が一望になり徳島の雄大な景観を楽しめる。東に向かう。吉野川は豊かに太平洋へと流れ込んでいく。  
車のオーディオから「錆びたナイフ」「俺は待つてるぜ」「口笛の聞こえる港町」「夜霧の慕情」。石原裕次郎。思わず口ずさむ、胸になにかが盛り上がるように広がる。小松海岸の砂浜に立つ、指で砂を掘る、それが紛れもなく「錆びたナイフ」の時に倒錯していった。頭の中が走馬兎のように駆け巡る。時代が走り抜けた、気がつけば、津田港。夜霧の黄色い光がにじむ、「夜霧の慕情」がどこからともなく聞こえる気がする。岸壁を歩く、口笛を吹く、当然、「口笛の聞こえる港町」。いつの間にか、歳を重ねてしまった。あの裕次郎「気どり」だったころはどこに行ってしまったんだろう。「我が人生に悔いはなし」が帰りの車の中に聞こえる。「本当に悔いはないのだろうか、」。オ、オセエテ、ナルクさん・・・。

## 助け合いの精神もち生きる (ボランティアの基本)

平成二十三年の年明けの徳島新聞「読者の手紙欄」に掲載されていた文面を読み返したい。

「助け合いの精神もち生きる」と題されていた。すべてのことを100%完ぺきになにもかも出来る人は、世界中を探し回ったとしてもおそろしくないと思います。そう思うのは、一人一人それぞれに得意とするところ、苦手とすることがあるからです。だからこそ、人はお互いに助け合って生きていくことが大切であることを先人たちは常に説き続けてきたのではないのでしょうか。

人によって考えは違いますが、生きる上で大切なことは同じだと思います。例えば舞台では、役を演じる役者の姿は誰の目にもついて目立ちます。しかし、裏方の大道具や照明といった人たちの姿は見えません。けれど、お互いの存在がないと一つの舞台をつくりだすことが出来ない関係にあります。

誰にもできないことがあります。仮に人の弱点を見つけたとしても責めるのではなく、自分の出来ることを通じて補い合うべきです。生かしたり生かされたりしながら生きる存在だから、私たちは人間と違うのではないのでしょうか。

投稿されたのは二十八歳の若い世代、助け合いの心の大切さを改めて知らされている。ボランティアという言葉のことを堅苦しく考えている人たちが多いのではないかと思われる。ボランティアこそは、その原点が助け合いであり、向こう三軒両隣の精神こそが高齢者孤独を排除し、緊急時のみでなく、普段からの高齢者の生活環境を知ることが出来るのではないだろうか。ちなみに、投稿者はナルク徳島の会員の「子息であることを記しておきたい。

## 体験入所をしてみませんか？

ナルク徳島のメンバーの中にはすでに訪問介護とかデイサービスなどの提供を受けておられる方が多数あるものと思われます。

施設の形態はさまざまで、私設の大病院によるセンターもあれば、家庭的で小さくまとまっているところもある。もちろん大切なことは施設の大小ではなく、その中で介護をされる介護士、もしくは看護士、社会福祉士など、その職に就かれる人の人柄、性格であることは言うまでもありません。

メンバーの中でも、今は大丈夫であってもいずれはそういった施設にお世話にならないければならない、そのために予備知識を持っていければ安心でしょう。ナルク徳島には賛助会員として、訪問看護、居宅介護支援、デイサービスなどの施設「株みらい」があります。

この施設は、元公設病院の看護師の人たちが始めた施設で、ケアマネージャーなど専門職による適切な指導を受けることもできます。

また、「株みらい」では施設内へのデイサービスを実施しており、さまざまなサービスを受けることができます。誰にでも決して遠くない未来、「デイサービス・みんなのみらい」に体験入所してみようではありませんか。

必要であれば、「株みらい」へいろいろと相談を持ちかけられてはいかがでしょう。ご希望があれば、ナルク徳島、事務局までお問い合わせください。ご希望に沿うように連絡調整をとりまします。

## ボランティア保険の実働

「ナルク活動でのボランティア保険の実働」ボランティア活動を行うにあたり、ナルクでは入会直後からすべての会員がボランティア保険に加入していることを周知徹底してきました。

言葉では、ボランティア保険の存在は理解していても実質的にはどのような働きを得られるのかはナルク徳島のメンバーでは誰も経験したことがありません。もちろん、ボランティア活動上での事故の予防は当然のことです。それでも、不測の事故は突然発生します。

人的事故はもちろんですが、物損事故の発生時にもボランティア保険は活用できます。

昨年、十二月に発生した物損事故、提供サービス中に照明器具の力サ（ホヤとも言う）を落下破損させました。早速、本部に連絡報告、本部の指示による資料、書類を提出し二十三年一月に保険が適用され、弁済金を受けることができた。

このように、ナルク活動で提供サービス中での事故についてはボランティア保険が適用されます。

ただ、ボランティア保険は、提供者のみが対象であり利用者には適用されないことを認識しておくべきである。また、自動車事故による保険は、車所有者の保険で処理するものとし、ボランティア保険の対象にはならない。ボランティア保険は、物損事故、ボランティア活動中の人身事故にのみ適用される。事故の発生があった場合には事務局に連絡、本部よりの要請に応じて必要書類の提出を求められる。可能であれば、物損事故発生直後の状況写真等を撮影しておくことが賢明と言える。

とりあえず、事故があれば事務局に連絡する。